

人口と世帯

54.12.1現在

(前月比)

男 5,810人 (+2)

女 6,134人 (-6)

計 11,944人 (-4)

世帯数 2,786 (+1)

広報くにもみ

発行/国見町役場

編集/企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁田二

2/1 ☎969-17

電話藤田(024585)2111

昭和54年12月15日

No. 78



'79

12月

おもな内容

- 新庁舎で順調にスタート……2～3
- 飲酒運転は絶対にやめよう……4
- あの人の人……4～5
(佐藤正康さん)
- 公民館だより……6～7
- 昭和55年度就学予定者……8
- ごみ収集の日程が変更……8
- おしらせ……10

父・娘⑨

古川 篤 亮さん(65)

2女 亮 子さん(34)

(藤田字北65の4、古川肉店)

古川家はおもに肉、魚、仕出しなどを取り扱う総合食品店である。

店の切り盛りはもっぴら亮子さんご主人の勝夫さんにかまされ、篤亮さんは店の経営指揮監督の役目。

「お客様には常に新鮮でいいものをと努めています。もちろんサービスはいつでも一店先には生きのよい魚がところ狭しと並べられている。

また、古川肉店の仕出し弁当は安くておいしいと評判がいい。これも新鮮な材料が手元にある強みと、調理士である亮子さんの腕前の良さにほかならない。

かなり高い有病率

循環器一次検診の結果

死亡者の上位を占める成人病対策の一環として、県と町では結核検診と併せて循環器一次検診を実施しています。

受診対象者は四十六歳までのすべての方ですが、今回受診されたのは男九百五十四人、女千四百七十一人の計千四百二十五人で、受診率は六三・四％にとどまりました。その分析の結果が保険保健所より報告がありましたのでお知らせします。

異常なしは

四一・六％だけ

- ①検診の結果は、異常なし(四一・六％)、要指導(二一・五％)、要医療が(一八・七％)であった。
- ②有病者率(高血圧、心臓病、糖尿病、腎臓病、脳卒中を問診より調査)は四十歳代で男一四・五％、女一四％で、加齢に伴い増加し、とくに女に著しい。
- ③有病者のうち高血圧の占める割合が最も多く、どの年代も九割以上が高血圧で占められている。
- ④高血圧治療状況は男女とも四十

代に放置傾向が高く、四十代の男は四四％が放置。五十代以上は男女とも加齢に伴い治療率が高い。

- ⑤心臓病、糖尿病の治療状況についても四十代に放置する人が多くみられる。
- ⑥高血圧は男女とも五十代で急増加する。女は六十代では二人に一人の割合であり、また、四十代の男の約二割は高血圧である。
- ⑦肥満度区分はふとり過ぎ(フラス二〇％以上)は、男はどの年代も平均してあるのに対し、女は加齢に伴い増加し、五十五歳以上は四人に一人の割合でふとり過ぎである。やせ過ぎ(マイナス二〇％以下)は、男は少ないが、女は加齢に伴い増加する。
- ⑧肥満度別の血圧区分は、肥満がすすむに従い高血圧者が増加する傾向が見られた。また、やせ過ぎの人の三人に一人の割合で高血圧が見られた。高血圧の最少少ないのがやせぎみ(マイナス一〇～二〇％)の人であった。
- ⑨尿糖陽性新発見者率はどの年代とも女に比較して男に高い。とくに四〇～四四歳、六〇～六四歳の男に高い傾向がある。

順調にスタート



▲一段と広く利用しやすくなった住民課窓口

◀対象的な新旧庁舎。この風景ももう見られなくなる



▶町長室(二階)



◀第一会議室(二階)

性別・年代別・受診者数・有病率・尿糖陽性新発見者率

区 分	年代		40~44歳		45~49歳		50~54歳		55~59歳		60~64歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受診者数	157人	259人	181人	310人	266人	371人	187人	296人	163人	235人		
有病率	14.0%	12.7%	14.9%	15.2%	20.7%	24.8%	25.7%	33.1%	31.9%	43.4%		
尿糖陽性新発見者率	6.4%	1.2%	2.8%	1.0%	4.5%	1.4%	2.1%	1.4%	6.9%	1.7%		

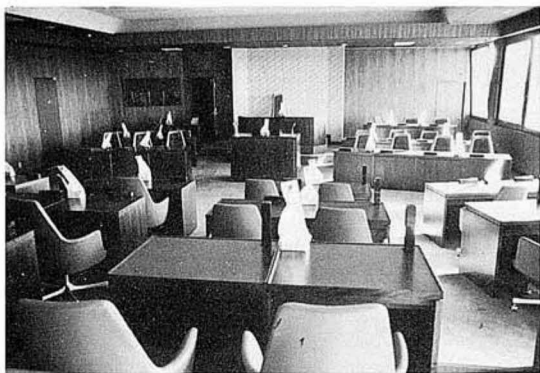
①有病者率(千人当り)は、厚生省の国民調査と比較すると、高血圧症、心臓病、糖尿病、腎臓病、脳卒中のみから算出しても当町は高い。
②高血圧の放置傾向が男女とも四〇代に高いが、自覚症状の欠如、忙しいことなどが関係している。

高血圧を放置している
四〇歳代

思われる。成人病は習慣病といわれるように、幼児のときからの正しい食生活、とくに食塩の過剰摂取、または中高生、青壮年者に実施する必要性を感じる。
③肥満は農村には少ないと住民は考えている傾向があるが、この結果では女性の肥満者がかなり見られるところから、十分気をつけねばならない。
④やせすぎの人の二三%に高血圧者がいるが、適切なたんぱく質摂取などの正しい食生活が必要といえる。

× × × × × ×
以上のような結果報告でした。当町は医療機関にめぐまれ、医師の恩恵を受けていますが、それにもかかわらず有病率が高く、その九割以上が高血圧というのは、やはり昔からの食生活のあらわれでしょうか。
成人病は一朝一夕にして治るものではありません。規則正しい生活を守り、早期発見と早期治療が大切です。検診後治療を必要とする方は放置することなく、必ず受診し、徹底した治療を受けられるようにしてください。

なお、検診の受診率がかなり低かったようですので、(六三・四%)、来年はすべての方が受診されることをお勧めします。



▲町の議決機関の場 議場(三階)

新庁舎で

新庁舎での執務が12月5日から順調にスタートしました。

引越しの残務整理や不慣れのため、まだ何かとご迷惑をかけることもありますが、おかげ様で執務体制も軌道に乗り始めました。

ぜひ一度来庁され、みなさんの庁舎をご覧ください。



▲正副議長室と議会事務局



▲おもに事業課があつまった二階事務局

未始
年年

みんなそろって明るい正月

飲酒運転は絶対やめよう

十二月は、一年のうちで、最も交通事故の多い月です。特に年末は、ドライバーも歩行者も、気分的に何かとあわたしくなります。一方で、交通渋滞が、ひんぱんに起きるようになります。気ぜわしさとイライラが高じ、ともすれば、スピードの出し過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでも、この時期にみえるのが、飲酒運転による事故です。酒を飲む機会が多くなる年末年始は十分に注意を。

死亡率は平均の

三・二倍

二・一世帯に一台——これは全国平均で見た乗用車の保有台数です。一方、十六歳以上の「免許適齢人口」に占める運転免許保有者の割合は、男性が一・五人に一人、女性が四・五人に一人となっています。

——一世帯に一台の割合で乗用車を持ち、二・二人に一人が運転する——クルマは、私たちの生活に一層身近なものとなりました。国民皆免許時代といわれる一方

で酒が日常広く親しまれる——車を運転する者は、だれもが飲酒運転や酒気帯び運転の危険性を宿しているといえます。

酒酔い運転による死亡事故は、スピード違反、わき見運転に次いで多く、その死亡率なら平均の三・二倍という高率です。

年末年始は、特に飲酒の機会が多くなります。「この程度なら大丈夫」——これが一番危ないのです。くれぐれも注意を。

ブレーキの踏みおくれ スピードの出し過ぎ

アルコールは、自分は大丈夫だと思っても理性をマヒさせ、判断力を鈍らせるところにその怖さがあります。

運転中、信号を見忘れるなど注意力が散漫になったり、歩行者に気が付いてもブレーキ操作が間に合わないなど、正常時に比べて動作の遅れが目立つようになります。

運転技能は飲酒後三十分で最も悪くなり、以後、徐々に回復したものの、二時間たってはまだ飲酒前の正常な状態にはもどらなかったというこです。

では、どのように運転技能が低下したか見てみましょう。
まず第一に、ブレーキの踏み方がおくれ、第二にスピードの出し

十年以上無事故無違反 の方は申し出を

交通安全協会桑折支部では、自動車運転者（バイクも含む）の十年以上無事故無違反者の表彰を毎年三月に行っており、五十五年も行われます。

優良運転者として表彰されますと何かと優遇される特典が与えられますので、該当される方は町内各支部の役員にお申し出ください。
(交通安全協会桑折支部)

- 小坂部会 佐藤俊雄 3797
- 藤田部会 斎藤正美 4238
- 大木部会 佐藤 実 2047
- 森江野郎会 佐藤光康 5222

5222



28

佐藤正康さん（藤田字堤下16）が町交通指導員になったのは昭和五十一年四月。責任感の強い、真面目な人柄が買われて、交通安全藤田部会の役員だった佐藤さんが推薦された。以来、学校が休みの日を除き、雨の日も風の日も街頭に立ち、子ども達の登校時の交通指導を続けている。

「時間は朝七時から八時十分頃まで。吹雪の日など指先がかじかんで動かなくなったり、呼び子さんがピタッとくっついてしまうことも。初めのうちはたいへんで、長続きするかどうか不安でした。」
現在、町には三人の交通指導員が活躍している。佐藤さんのほか

に朽木野秋さん（藤田字町裏七の二）と佐藤英彦さん（山崎字沢田一）が毎朝三方所で指導にあたっている。いずれも交通量の激しい交差点で、このおじさん達がいるから子ども達も達も安心して登校できる。

町の交通指導を続けている

佐藤正康さん

「やはり一番危険なのは、忘れ物をした時や時間いっぱいまで走ってきたりしたとき。左右確認、安全を確かめて渡るんだよと教えていますがどうしてもあわてて渡ろうとする。それから小さい子の一人歩き。親ごさんは十分注意していただきたいと思えます。」
佐藤さんの毎日の生活では交通指導の仕事が最優先する。どこかに旅行をす

過ぎが目立ち、第三にアクセル、クラッチの踏み方が粗悪になる——すなわち下肢の運動機能が鈍くなりました。
次いで、軽くですがハンドルのふらつきが見られます。また、交差点では、方向シグナルを出し忘れたり、安全確認をおこたったり、また停止位置が不安定になり通行区分が守れませんでした。
飲酒は反応を鈍らせ、注意力を散漫にします。「ちよつと一杯ぐらい……」の気のゆるみが最も危ないのです。

アツアツおじさん

山部 冬彦



るときなどは学校の休みの日を選び、また、近い所では必ずその日のうちに帰ってきて、翌朝は街頭に立つ。「休んだときもし子ども達に事故が起きたらと思うと落ち着かなくて」とはいうもの、これほどまでに徹底するのはなかなか容易でない。

交通指導は朝だけでなく、お祭りやマラソンなど何か行事があれば出かけて行って活躍する。「町内は道路が狭いので車が止まっていると指導がたいへん。車の流れのタイミングがむずかしい」。佐藤さん自身も二十年前に交通

傷で生死の間をさまよったとか。事故の恐ろしさは身をもって体験しているだけに、自分にも厳しくおのずと指導の目も光る。「事故が起きてからではもう遅い。常日頃から家庭の中で交通安全の話をしてほしい」と訴える。

国見町と桑折町では昭和五十一年から協力して交通安全町民大会を実施しているが、佐藤さんは五十二年に交通指導員の立場から体除発表をし、交通安全を呼びかけた。だが、こういう方々の努力をしり目に、きょうもどこかで必ず交通事故が起きている。

「体の続く限り交通指導は続けていきたいと思っています。寒い時でもおじさんおはようございます」という子ども達の元気な声を聞くと寒さも忘れてしまいます。もちろん、奥さんの全面的な協力も忘れてはならない。

昭和十二年七月一日生まれ。

歳時記 除夜の鐘

十二月は、除暦で「師走」とよばれていましたが、また別の名を「除月(じよげつ)」ともいいます。

十二月が「除月」で、三十一日つまり大晦日が「除日(じよじつ)」、その夜が「除夜」というわけで、百八つの鐘で知られる「除夜の鐘」の名称も、ここに由来します。

ところで、百八つの鐘をつき鳴らすのに一時間から一時間半かかるそうですが、いくつ目ぐらいで年が明けると、昔は、百七つを年内につき、残りの一つを新年につくらわしたたそうですが、今では、午前零時つまり新年の合図に最初の一つを、年が明けから残り百七つをつくお寺が多いようです。

どうして、このように変わってきたのでしょうか。

あるお寺では、その辺の事情について、こんな話をして



「ブーンと尾を引くような余韻が消えてから次をつきますし、信者の方が入り代わり立ち代わり鐘をつかれるので時間は正確に測りません。百八つをビタリ午前零時に合わせるのは、たいへんむずかしい。昔は多少時刻がずれても、さほど差しつかえなかつたでしょうが、今はラジオやテレビの時報もありますし、新年を告げる鐘の音が不正確では、みなさんに申し訳ないですからね」

除夜の鐘も時代の流れには勝てず、といったところですが、そういえば、この夜に食べる「年越しそば」のそば粉はもちろん、タレに使われるゆめ豆乳の材料である大豆も、いまではほとんど輸入品とか。

除夜の鐘、年越しそばといった年の瀬の風物詩も世に変わって来ていますが、何はともあれ、一九八〇年代がよい年でありますように祈りたいものですな。



国見町公民館
電話 (026) 76-4156

二重堀の全容を見る

発掘調査の結果から

国見町には数多くの遺跡(人間社会の足あと)が存在している。縄文時代の山田、竹の内、川原などの遺跡、弥生時代の青木、古墳時代の塚野目、大木戸などの古墳群。そして古代の条里遺構、中世の石田田、金谷などの城館。

その中でも、特に、古代と中世を区切るあつかい山の合戦の防壁(二重堀)は日本の歴史の上でも重要な地域となっている。ところが近年、県営ほ場整備事業が施行され、県教育委員会ではやむをえず破壊される遺跡の記録保存のために発掘調査を進めてきた。その「二重堀」の一部概要がこのほど明らかにされた。

◆二重堀のこと

二重堀はあつかい山の中腹から阿武隈川岸までの約四キロメートルにわたって帯状に続いている土塁である。すなわち、溝を掘りその上を積み重ねて土塁とし、二条の堀と二条の土塁を築いたところから二重堀の名がつけられた。

この二重堀を含めたあつかい山一帯は「文治五年奥州合戦」つまり、源頼朝(鎌倉方)と藤原泰衡

(平泉方)との戦いの地で、平泉方の最大の防壁(さきよ)線であった。まさに両軍の決戦場であった。

この戦いに、頼朝ははじめて鎌倉を遠く離れ自ら決戦にのぞんで奮戦した。この合戦こそが、頼朝の全国制覇(は)の最後の戦いとなり、日本史上の重要な区切りに位置する。

地元には、この戦いとき二重堀に米を敷いて川に見せようとしたが、鳥が米を食べているのを鎌倉方に発見され、失敗に終わったという伝説がある。

◆調査の経過と結果

二重堀については昭和四十六年、東北縦貫自動車道の建設に関連して発掘調査され、二重の堀と二条の土塁が明らかに存在していたことが実証された。

今回は、地表にその形があらわれないない地域(段ノ越から森山東国見までの田と堀)を発掘調査した。その結果は、一条の堀のみといわゆる二重堀となつていないところがあり、その築造は一樣ではなかつたようである。



大枝地区の発掘調査風景(左)

では一条の堀、あるところでは二重の堀の差はあつても、あつかい山から阿武隈川岸までまごに連続していたのである。

その労力たるや、推して知るべしである。ちなみに、幅五尺を十尺にわたって掘るのに、作業員約十五人で七日間を要した。これには、若干の大型機械力と一輪車、スコップなどの金属器類を使用している。工量計算は行つてはいないが、当時これだけで少くとも二百人は必要であつたのではなからうか。

この数字が当時の労力と仮定すれば、四キロの二重堀を築くのに延十六万人の力を必要としたことになるのだが、さて……

堀内の土層のようすを見ると、下半分はグライ層といわれるもので、水分が多く、完全な空壕であつたかどうか疑われる。阿武隈川の水を引き入れた、という話とは別に、何らかの形で水は存在していたのではなからうか。

◆まとめとして

①段ノ越、耕野内付近では一条の堀、中島付近では二重の堀が確認され、いずれにしても本遺構は連続的に築造されている。

②「吾妻鏡」に言う「口五丈」は

ほぼ妥当な数字である。
③一つの堀としては、一条の堀の規模の方が大きい。
④堀は上半はゆるやかであるが、下半は急に傾斜する。
⑤堀の堆積土は、下半は自然堆積、それも若干の水をたええ、上半は一時期の堆積(人為的)と考えられる。

○発掘に協力くださった方々、ありがとうございました。なお、この後も大枝地区で発掘調査が行われています。

篆刻入門講座

雅印(書、日本画等に使用する印)の制作をいたします。流派は問いませんので責任をもってご指導いたします。どなたでも入門ください。
☆日時…55年1月16日・23日・30日 午後7時～9時
☆講師…福島女子高教諭、網代春朋先生
☆主催…習友会(会長渡辺愛子) 電話2264
☆後援…町公民館
☆費用…材料費も含めて1,000円以内
☆用具…書道用具(特に小筆を忘れないように)

石母田チームが初優勝

町内一周駅伝大会



※延期になっていた桑折町国民見町マラソン大会は3月16日(日)に決まりました。各コースありますのでみんなで出ましよう!!

十一月四日(日)、町公民館などの主催で町内一周駅伝大会が行われ、石母田チームが見事初優勝を飾りました。

この日は春日和の絶好のコンディションにめぐまれ、午前十時三十分公民館前スタート、小坂、石母田、大光、大枝、森江野の各地区をまわる十区間、23.4キロのコースで競いました。成績は次のとおりです。

- 優勝 石母田チーム
1時間28分21秒
(佐藤武徳、阿部善市、佐藤久男、市川忠明、佐藤秀世、高木万作、齋藤清、佐藤清、佐藤徳雄、矢野孝二)
- 準優勝 滝川チーム
1時間29分2秒
(齋藤洋一、齋藤公一、佐久間靖明、谷津光昭、齋藤松男、小林平三、鈴木孝雄、高村義孝、佐々木実、中野一雄)
- 第三位 小坂チーム
1時間29分44秒
(黒田武、後藤孝志男、菅野文男、安孫子逸、安孫子正、嶋田精一、高橋豊寿、安藤信男、佐藤政弘、山田一郎)

町民学校 「カメラ入門」を終了して



大木戸野内7 阿部ノブ

私は日頃から、家族や友達と旅行に行った時など、後日の記念に風景や人物を自由に、そしてきれいに写せたいのと思っています。それが、私にも写せるカメラが

手に入り、早速撮り始めたわけですが、ところが、カメラの基礎がまるでわかっていないので失敗することがたびたびありました。そんなとき、公民館の町民学校でカメラ入門があると知り、「五十の手習い」で、おそるおそる参加したわけです。

※十二月二十九日から一月三日まで公民館 体育館とも全面的に休館となります。よろしくご協力をお願いします。

今後は簡単に写せるカメラが大量にあり、だれでも気軽に写すことができますが、基礎を知っている

かどうかで写真の出来がずいぶん違うこともわかりました。最後には、モデルさんを写しての演技など、若い人に凝じたのが、私は私なりに負担も感じましたが、はたいへん有意義なことでした。またこのような講座があれば参加したいと思っています。 終りに、新村先生のご指導と公民館の方々に心からお礼を申し上げます。

あつかし俳句会

昭和五十四年十一月二十四日

- * 半田山 霽れて時雨ふる灰鳥忌
- * 灰鳥居 居れないなる梅もどき
- * 久方い故師の庭踏む草紅葉
- * 師を慕う心幾とせ菊香る
- * 半田山 虹のかけ橋秋時雨
- * 夕月や師の在まさねは時き庭
- * 目つむれば小春に親し師の笑顔
- * 山茶花の亡き師好みの色紅し
- * 放棄し嬌恋い村を通りあて
- * 神の鈴腰の鈴鳴る七五三
- * 落葉掃くあとまた落葉又落葉
- * 雲前に句会開くや紅葉散る
- * 秋遊きて野辺はでなく枯れ尽す
- * 句心の乱れを癒す灰鳥忌
- * 霧深し妻恋坂に師は遠く
- * 恩師の庭あの日如く銀杏散る
- * 留守がらの庭に木の葉の吹きたまり
- * 山茶花のひそと咲きおり丘の家
- * 朝寒や泣いて母追う子のありて
- * 菊葉笑く煙をびきて家古りぬ
- * 落葉舞く煙をびきて家古りぬ
- * 庭の木々いたわり夫の冬仕度
- * 師が在れば詩の遠きよ冬銀河
- 佐藤 国樞
- 高橋 涌水
- 渋谷 良一
- 角田 昭子
- 羽賀 えい
- 赤間 はる子
- 熊坂 きよ
- 高橋 仙子
- 鈴木 幸子
- 原田 和喜
- 熊田 高枝
- 藤沢 秋子
- 森田 栄子

昭和55年度就学予定者

(昭和48年4月2日から49年4月1日生まれの方)

来春小学校へ入学される一七八名のみなさんおめでとうございます。記載もれや誤記などがありましたら町教育委員会までお知らせ下さい。

藤田小学校 九七名

(男46名 女51名)

- 阿部 順山崎 黒田 義敦
佐久間 拓也 江 勇二
鈴木 昌政 徳 江 市
後藤 弘彦 木口 拓哉
武田 正和 角 健司
秋元 正和 菊地 賢一
内村 忠和 高橋 伸一
八藤 卓也 高野 朋一
佐藤 恵一 高野 秀正
菊地 真吾 佐藤 貴

- 高橋 健一 菊地 祐一
高橋 裕典 八島 栄作
菊地 裕司 中村 洋幸
横山 広典 村 義春
後藤 奈典 谷 津政
佐藤 奈典 佐藤 宗孝
佐藤 奈典 青木 伸二
小林 和久 青木 伸二
松浦 和久 青木 伸二
佐久間 博誠 藤 孝則
佐久間 博誠 藤 孝則
佐久間 博誠 藤 孝則
谷津 信行 半沢 龍一
渡辺 真奈美 齋藤 奈津子
花井 美香 齋藤 奈津子
奥山 郁子 藤 桂子
細川 恭子 藤 桂子

- 八巻 千秋 佐藤 直里
後藤 幸枝 中野 恵美
小池 弥生 武田 由美子
佐久間 春美 石ケ森 宗子
佐藤 美生 藤 宗子
市川 美ゆき 松浦 陽子
阿部 博子 菊地 百恵
阿部 博子 菊地 百恵
六戸 明美 吉田 惠美
三木 久美子 水由美子
浅野 陽子 賀美幸
村上 明美 玉 亜希子
太田 千恵子 飯塚 麻紀
反田 直美 片平 光剛
一藤 靖吉 吉田 晴美
佐藤 結希 大槻 倫美
水越 未知 大槻 倫美
寺島 未知 大槻 倫美
佐久間 千香子 愛 留美
鈴木 由紀恵 藤 留美
小坂小学校 二名 藤 賢一

- 杉木 幸吉
寺島 由紀
実沢 美賀子
村上 美賀子
佐野 美賀子
後藤 千春
佐藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
阿部 雅志
藤 雅志
藤 雅志
藤 雅志
藤 雅志
朽木 正人
黒田 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝

- 大木戸小学校 一八名 (男9名 女9名)
寺島 由紀
村上 美賀子
佐野 美賀子
後藤 千春
佐藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
後藤 温史
阿部 雅志
藤 雅志
藤 雅志
藤 雅志
藤 雅志
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝
藤 善勝

12月 師走(しわす)
○22日・冬至
○25日・クリスマス
○28日・官長ご用納め
1月 睦月(むつき)
○1日・元旦・初詣
○2日・書きぞめ・初夢
○4日・官庁ご用始め
○11日・鏡開き
○13日・大相撲初場所
換気を忘れずに 本格的な寒さの訪れとともに酸欠による事故がふえてきます。酸欠は意外に身近で起こりうるので、換気を忘れず用心することが大切です。大気中に占める酸素の量は約21%、この割合が16%以下になつたり高山のように気圧が低かつたりすると、肺で血液に酸素を十分に行き渡らず、体内では酸欠不足症が起こります。その最もありふれたケースが不完全燃焼による一酸化中毒です。
症状としては、頭痛、眠気がし、体の自由がきかなくなったり、意識を失ってしまいます。閉め切った手狭な台所で換気扇を回さず湯沸かし器をつけると、約10分で酸欠がはじまります。十分に気をつけよう。

心配ごと相談日
場所：役場二階相談室 (東側入口よりお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや心配ごとがありましたらお気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
[相談員]
12月25日(火) 菊地 正治
洪谷 愛子
1月5日(土) 宇佐美 兵蔵
長谷川 キン
1月15日(火) 曳地 善作
阿部 キク
1月25日(金) 佐久間 岩吉
佐藤 ハルヨ

ごみ収集の日程がかわります

来年一月から民間委託に

ごみ収集についてはみなさまに何かとご協力を願っていますが、来年一月からごみ収集の日程がかわります。

これは、昭和三十九年から町が行っていたごみ収集を民間に全面的に委託することに伴うもので、より以上の効率的な収集をはかっていくことをねらいとしています。今までと同様の協力をお願いします。

なほ、この日程表は三月までの間で、燃えないごみは二種類に分けて

日曜、祝祭日
は収集しません。
(年始3日
間も含む)
※ごみは朝8時
まで出しま
しょう。

曜日	ごみ収集日程表					
	土	金	木	水	火	月
藤田市街地	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えないごみ
上記以外の地区	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えるごみ	燃えないごみ

○藤田以外の地区(金曜日)
(セト、ガラス類)
1月……4日、18日
2月……1日、15日、29日
3月……14日、28日

(金もの類)

1月……11日、25日
2月……8日、22日
3月……7日、21日

※粗大ゴミは各地区とも第二工曜日に収集しますので保健課に連絡してください。
(☎2111有4165)

年末・年始はごみ収集を
しません
○藤田市街地(月曜日)
(セト、ガラス類)
1月……7日、21日
2月……4日、25日
3月……10日、24日

(金もの類)

1月……14日、28日
2月……18日
3月……3日、17日、31日

全国消費者実態調査の協力お礼

塚野目、耕谷、滝山、宮東、町東地区の24世帯の皆さんの三か月にわたり毎家計簿の記載にご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで調査世帯の変更もなく正確な調査結果を得ることができました。現在、総理府において集計がなされておられ、安定成長経済期における初めの国民消費生活の実態が明らかにされることになりました。長期間にわたり毎日の貴重な時間をさいてのご協力に対し重ねてお礼を申し上げます。(企画課)

年末年始の当番医

月日	曜日	医療機関名
12月28日	金	村谷 医院
29日	土	上川 医院
30日	日	宮川 医院
31日	月	熊谷 医院
1月1日	火	村上 医院
2日	水	村田 医院
3日	木	武田 医院

工業統計にご協力を

通商産業省では、今年も十二月三十一日現在で「昭和五十四年工業統計調査」を行います。この調査は製造業を営むすべての事業所と、その本店、支店を対象に実施されるものです。年末年始のお忙しい中を調査員が伺いますが、ご協力くださるようお願いいたします。この調査によつて、わが国の製造業の実態や、製造活動が明らかにされるほか、調査の資料は国民生活の中でも広い分野で活用されます。提出された調査表は統計以外の目的に使用することはありませんので、ご協力をお願いします。

善意の窓

○老人福祉対策(交通安全用手すり工事費)の一助として町社会福祉協議会へ
(五万円)
——山崎字館の二
吉田忠吉さん

○加藤ワキさんのご遺志
——光明寺字沼四ノ二
加藤万拙さん

カッブル誕生

- 氏名部署
- 佐藤 光裕 福島市
 - 佐藤 艶子 小坂
 - 多勢 健司 滝山
 - 多勢久美子 滝山
 - 吉田 和美 山田
 - 三浦チヨ子 梁川町
 - 寺島 清一 第四
 - 徳江紀江子 第七
 - 中村 政一 山崎小館
 - 後藤美智子 福島市
 - 高橋 正志 貝田
 - 佐藤たき子 貝田
 - 八巻 隆 徳江北
 - 佐藤 幸子 梁川町
 - 鈴木 英昭 川内
 - 田中喜久代 千葉県
 - 斎藤 幸利 貝田
 - 斎藤 秀子 山根

お知らせ



町奨学生を募集

町では昭和三十七年度から高校生、昭和四十二年度からは大学生も含めた奨学金制度を実施しておりますが、今年も次の要領により奨学生を募集します。希望者は町教育委員会まで申し込んでください。

なお、中学生で希望の方は県北中学校へ申し出てください。

修学資金(毎月)

○募集人員 若干名

○金額 高校五千円以内
高校七千円

○期間 最短修業期間
大学一万円

入学支度金

(入学時に貸与、一年以内)
返却)

○募集人員 若干名

○金額 高校 三万円
大学 十万円

幼稚園児を募集

藤田幼稚園と森江野幼稚園では就学前一年の幼児を対象として、昭和五十五年園児を募集いたします。

希望者は、来年一月九日から十一日までの間にそれぞれの幼稚園に申込んでください。その際、午前中は授業中ですので、できれば午後二時より四時までお願いいたします。なお、詳しくは「かいらん」をご覧ください。

交通巡視員を募集

福島県

福島県警察本部では、昭和五十五年四月に採用する交通巡視員を募集しております。ふるつてご応募ください。

受験資格

(1)年齢および性別

昭和三十一年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれた女子

(2)学歴

学歴は問いませんが、高校卒業程度の学力を有する者

受付期間

昭和五十五年一月七日(月)から一月十六日(水)まで

試験日程

第一次試験 一月二十七日(日)
第二次試験 二月下旬

※くわしいことは桑折警察署またはまよりの駐在所に問い合わせてください。

お気軽に

交通事故の相談を

社団法人日本損害保険協会では、「自動車保険請求相談センター」を設置し、専門の相談員が親身になって自動車保険の請求手続きや交通事故の解決方法などのご相談に応じています。

また、同相談センター委嘱の弁護士が毎週木曜日に複雑な法律上のご相談にお答えしています。

相談は一切無料ですからご遠慮なくご利用ください。

開設場所

- 福島県大町七二五 七十七七
- 福島市 自動車保険料率算定会
- 福島調査事務所内
- 福島自動車保険請求相談センター
- 福島(21) 1 2 9 5

相談月日

- 平日 9時30分～16時30分
- 土曜日 9時30分～12時
- 弁護士相談日
- 毎週木曜日 13時～16時
- ただし木曜日が休日にあたる場合は金曜日。

おめでとございます

(十一月中に届けられた方 敬称略)

(父の氏名) (子の名) (部署)

菊地 徳雄 武志 石母田西

遠藤 俊勝 智和 光明寺

菊地 義光 直子 宮町北

三浦 正三 千鶴 石母田原

大波 幸男 誠 貝田

佐藤 庄蔵 貴紀 貝田

本間 章南 和子 大町北

佐々木政弘 ひろみ 石母田原

一條 茂夫 里美 宮前

菊地喜代始 喜信 石母田原

おくり申しあげます

(十一月中に届けられた方 敬称略)

(氏名) (年齢) (部署)

阿部 チカ	94	宮町南
松浦 栄二	70	大木戸
熊坂 喜一	75	内谷西
竹見 セン	82	小坂
菊地 フェ	71	石母田原
古関 クニ	91	宮町南
高橋はない	76	山崎北
菊地ツヤ子	54	石母田原

喉いびり足らず



編集日記

○日脚が短くなり、まわりは寒々とした冬の自然が展開する。冬枯れの庭にはひっそりと薄紅色の山茶花(さざんか)が花を咲かせていた。

○早いもので今年ももう十二月。子どもたちは月日の経つのが結構楽しみだったが、最近はその早さだけが身にしみ、これといことなく一年を過ごしたことへの悔いばかりが残るようになった。

「光陰矢のごとし」という言葉が実感としてひびいてくる。

○町にとって今年の大きな事業はやはり庁舎の改築だろう。地震という思わぬ出来事の思わぬ結果だったが、引越しも無事終了、五日から新庁舎での執務に入る事ができた。まだ不慣れなこともあると思うが、より一層の住民サービスと事務の効率化を図るべく、全職員、意を新たにしている。

今月の納税

町県民税 第四期
国保税